

一畑電車新造車両の概要について

一畑電車では、鉄道デザイナー・水戸岡鋭治氏がデザインを手掛ける新造車両を、下記のとおり導入されます。

記

【新造車両の概要】

- ◆新造車両2両のデザインは、数多くの鉄道デザインを手掛けられている水戸岡鋭治氏が担当されます。
- ◆名称は「天叢雲（あめのむらくも）」です。
※神話でスサノオノミコトがヤマタノオロチを退治した際に尾から出てきた剣の名前「天叢雲剣」に由来
- ◆車両デザイン(案)は別添のとおりです。
※現時点のデザインであり、水戸岡氏が名称にあわせたデザインを検討中
- ◆デザインコンセプトは観光列車として利用でき、通勤・通学のニーズにも対応でき「移動を楽しみながら過ごせる車両」です。
- ◆運行開始は、令和 8年11月予定です。

天叢雲

縁結びの神々が宿る

「あめのむらこも」

デザインとものごと

AMENOMURAKUMO

水戸岡鋭治氏のプロフィール



Photo by Shintaro Shiratori

水戸岡 鋭治（みとおか えいじ）氏は、1947年岡山県生まれの著名なインダストリアルデザイナー・イラストレーターで、1972年にドーンデザイン研究所を設立。JR九州の「ななつ星in九州」や九州新幹線800系「つばめ」、特急「ソニック」など、数多くの鉄道車両や駅舎のデザインを手がけ、ブルネル賞などの国際的な賞を多数受賞。「たま電車」やバス、商業施設、まちづくりなど、幅広い分野で「デザインとは総合的で創造的な計画」という信条のもと、地域の活性化に貢献しています。

《略歴》

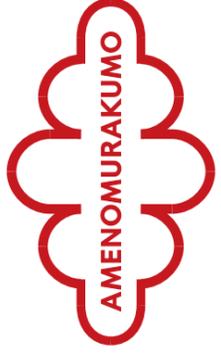
1947年 岡山県に生まれる
1966年 岡山県立岡山工業高等学校デザイン科を卒業し、大阪の「サンデザイン」に入社。
1969年 イタリヤ・ミラノの「スタジオ・オ・シルヴィオ・コッポラ」に勤務。退職後はヨーロッパを周遊する。
1972年 「ドーンデザイン研究所(DON DESIGN ASSOCIATES)」を設立。

《主な実績》

1987年 「ホテル海の中道」のアートディレクション、デザイン、イラストを担当
1988年 「アクアエクスプレス」を手がけ、鉄道デザインの分野へ進出。
1992年 787系電車「つばめ」をデザイン。ブルネル賞およびブルネル賞を受賞。
2013年 クール・ストレイイン「ななつ星in九州」のデザインを担当。
2019年 東京・豊島区のコミュニティバス「イケバス」をデザイン。

《主な受賞歴》

2010年 交通文化賞
2011年 第59回菊池寛賞、毎日デザイン賞
その他 787系「つばめ」でのブルネル賞、ブルネル賞など



天叢雲の導入にあたって

一畑電車に「津ノ森」という駅があります。出雲神話において、素戔鳴尊が八岐大蛇を退治した際、この大蛇の角と骨が流れ着いたのが「津(港)」の「森」という由来が残っています。そして、出雲平野を流れる斐伊川の上流、船通山で退治された八岐大蛇の尾から出たのが天叢雲剣。後に三種の神器のひとつといわれる神剣です。この叢雲とは、「群がり集まった雲」を意味し、当地に次々と湧き出でる雲を連想させます。今回の導入にあたり、この叢雲の下を走り抜ける電車を「天叢雲」と銘うちました。出雲の山並みを孕む叢雲を車窓から眺め、出雲神話に想いを馳せてください。



Design & Illustration by Eiji Mitooka + Don Design Associates

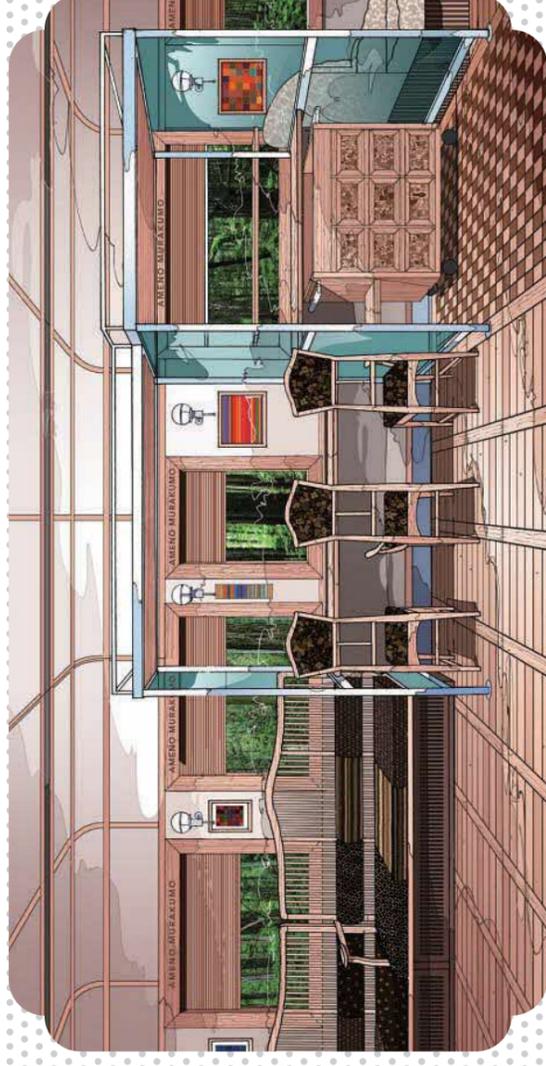
2026年11月運行開始 <予定>
デハ10001・デハ10002

一畑電車株式会社

島根県出雲市平田町2226 Phone.0853-62-3383 <https://railway.ichibata.co.jp>

AMENOMURAKUMO

縁結びの神々が宿る「あめのむらくも」



車両コンセプト

「あめのむらくも」は、ひと・こと・もの、人・社会・自然・経済・文化・人との縁を結び、豊かなコミュニケーションが自然に生まれる公共の電車としてハード、ソフト両面でデザインを進める。

「あめのむらくも」は、通勤・通学・観光をあまねく人々に好まれ、それぞれの人に、それぞれの時間と空間を提供する、オンリーワンの電車です。

AMENOMURAKUMO



「あめのむらくも」のデザインには、感動と楽しさが詰まっていること。温もりを感じる木材をふんだんに使い、車両ではタブーとなっていた、色、形、素材を使い、古今東西の様式やデザインを曼荼羅の様に組み合わせる。

「あめのむらくも」のデザインは、機能的で使いやすく美しいこと。普遍的でいつまでも新しいこと。多様的でユニークで楽しいこと。そのためには最先端の素材や工法と伝統的な職人の技を組み合わせコンテナポラリーに使えるようユニバーサルデザインの充実に務めること。

今後の運行計画(運用方法)

一畑電車沿線には、出雲大社、宍道湖、松江城、松江ゆかりの地など、国内外から高い評価を受ける魅力ある観光資源が数多く存在します。新造車両「天叢雲」の導入を機に、これらの地域資源と観光需要の新たな創出を沿線自治体・観光事業者と連携を強化しながら計画していきます。沿線の食文化を味わう軽食・スイーツの提供、伝統工芸・神話・自然をテーマにしたプログラムなど、一畑電車が長年培ってきた地域交通としての役割に加え、沿線観光への回遊性、国内外観光客の誘客を強化することで、地域全体の魅力発信に貢献します。